

此一者教背

No. 7

破

門

当時、教のまじりや利害的に対立する二つのグループがあった。

人文主義者
国家主義者である。



ともかく
国家主義者。

代表的な人物は
フッテンヤツキケン

といふに、馬鹿で……

そして人文主義者。
代表は、
エラスムスである。



エラスムスは
一五〇九年『愚神札記』も
出版して人々を驚かせた。

内容は教令を諷刺した
もので。



ルーテルも影響をうけた
一人である。

エラスムスは教令を
対決していたが、
宗教改革の先駆者
である。

ルーテルが一五七一年に

『九十五ヶ条』を発表した

時は、エラスムスの名門

の第二回に達した時期
であった。

ルーテルはエラスムスと
文書による交渉を
行ったが二人は生涯
ついに会合する機会
をもたなかった。

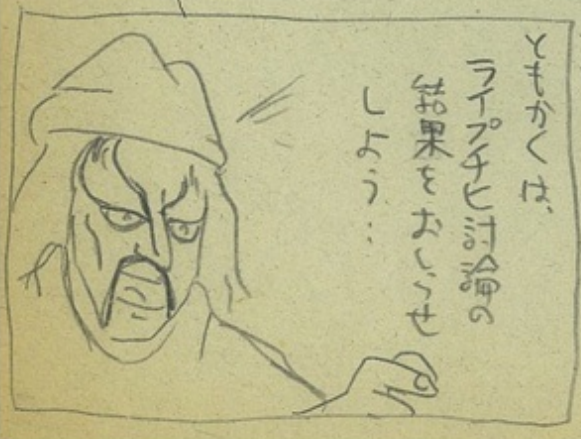
一五五年、ルーテルは
エラスムスと、共同教線をほり
ローマ教令と戦った。よびか
け、エラスムスはこれに、あ
なたの手紙を大変うれしく思
うしと答えている。

のちに二人は
は対立する
ことになった。
だが……



ともかくは、
ライプチヒ討論の
結果をおいせ
し……

ライプチヒ討論の
結果をおいせ
し……



最初の教日間は
エックとカールニミタットが
論争し、



ルーテルの申し立ては
七月四日からで
あった。

ルーテルは自説を弁明し、
しつづ、教皇の首位権について
討論して



ルーテル、オスマン
教会の反逆者フスと
同じ立場に立、
ていふので



私は
ホヘミア主義者
ではない、
私は福音主義者の
心



しかし、
ルーテルはホヘミア主義者
フスの主張も

よくゆかつて
いながら、
て水で休憩の時、回廊で
洞へた、



そして休憩の後、



フスの主張
には明らか
福音主義的なものが
ある。つまり彼は
異端ではないが、
その心、

ゆえに彼も
処刑した。宗教会議
はまちがいを太かした
のだ。つまり宗教会議
はつねに正しいとは
かまらぬ。
教皇もまた、
しかり。



討論会は長くつづき、どちらが勝ったとも
いえない。ルーテルは、エックに譲歩を
求め、ついに教皇と宗教会議の権威
が絶対であり、これを明言してしま、た。

二休で、もう
教皇との
和解は
無理だな



ナモ、
ルーテル
先生も、もう
まよふれること
なく、宗教改革
をはいめるに
くま



ルーテルさん



ミ、
ミルテック
さん



残念です、
一人が二になつて



すみません
アルテックさん
の話をサッパリ
聞いてません



いえ、
責任はすべてエック
にあります



どうが、
教皇様は
和解を
望むとの
手紙を
私からもとりな
します



ハッハ
ハッハ

私は
あなたも
受けたくは
ないです



ありがとうございます



ルーテルは教皇に手紙
を書いた。



手紙は教皇に届いたが、
ついに教皇は返事を
よこさずルーテルの和解
の希望を無視した



ルーテルにとって悲しむべき
知らせがまいりしんじ
奥師ミュタウベッツがアワグ
スチヌス 隆修士会サクセン区長
を辞職したというので



ミュタウベッツ
ミュタウベッツの福音主義
の原はとら、た人物なので
はる。

ミュタウベッツは、
教皇王よりルーテルの説得を
たのまれにが断りつづけて
きた。そして今にはほかにかから
ぬよう、主君をとして辞職した
のだ。

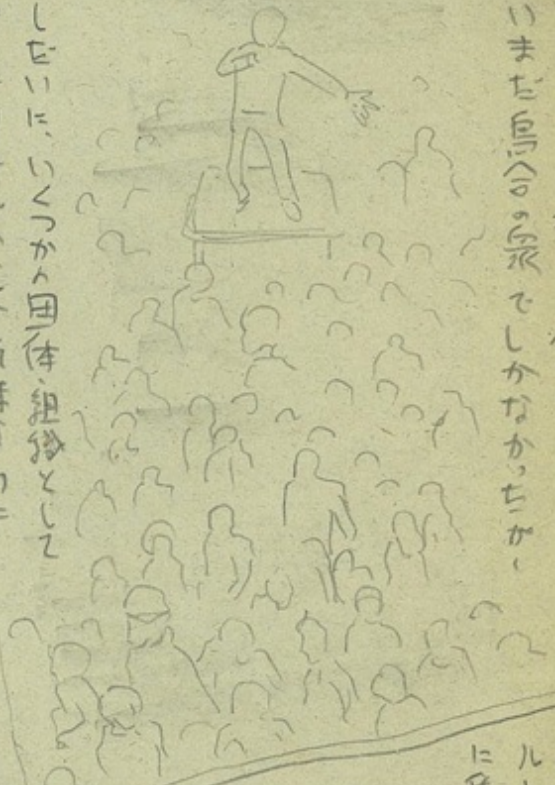


自派の選挙
が終わったので、
教皇王は、
ルーテルへの
融和政策
をとりやめ
た。



ラテランに討論
後、ルーテルの
人に入ります。
まずあがり、
教皇王として
脅威をかけて
いた。

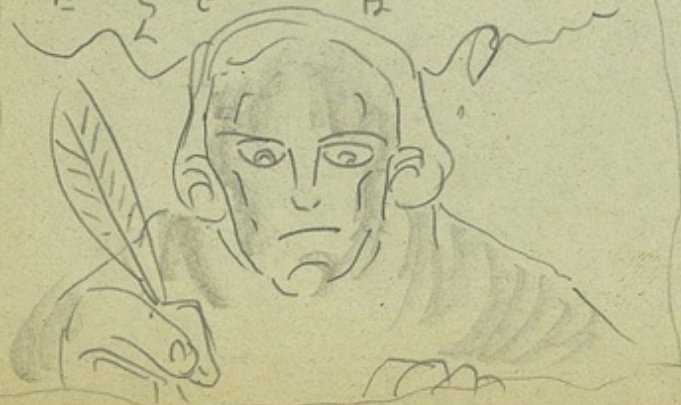
ルーテルも支持する人々は
いまだ自派の一派でしかなかったが、



しむに、いくつかが団体組織として
まとまりはじめ、不気味な動き
をみせていた。

今の
反教皇派の動き
は、私にとって三
カ脅威だ。
ことに多進派の
老若は、福音主
義の意味を
理の解して、ないし
私の志を無に
しかぬ。

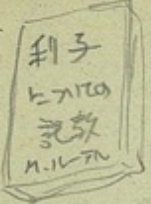
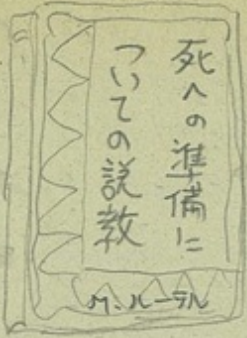
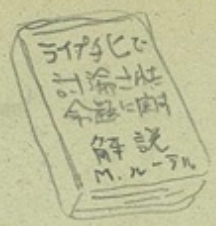
もしも、私が彼らに
かつま出た本宗教
改革を太りにから
ず、キリスト教は
あやまれる。
が、教皇王には反省
の色、みられず、二つで
はる多進派は、静まらん
私の福音主義の
善及につとめ、両者に
反省を求めぬ。



そんな中、
ルーテルは執筆作業
に集中した。



そしてルーテルの書物は
は次々と出版され
たてまちへベストセラー
となった。



ルーテルの
新作も
大好評だ
ますます
支持者が
ふえてくるよ
カトリックの支配から
ぬけようとして
いる教団が
あつちへきて

どうして
元気がないか

ああ

私が
キリスト教の改革の
も教団の
和解のもとで
ゆるいこと
こともあって
いなかね

私も
買成
てま

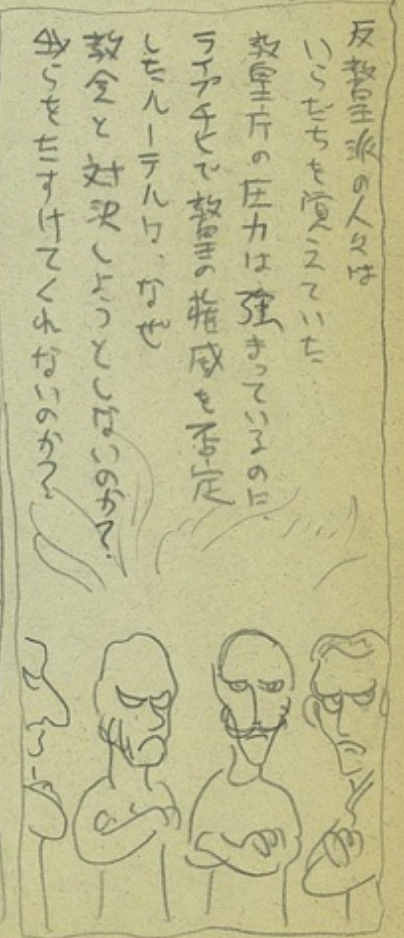
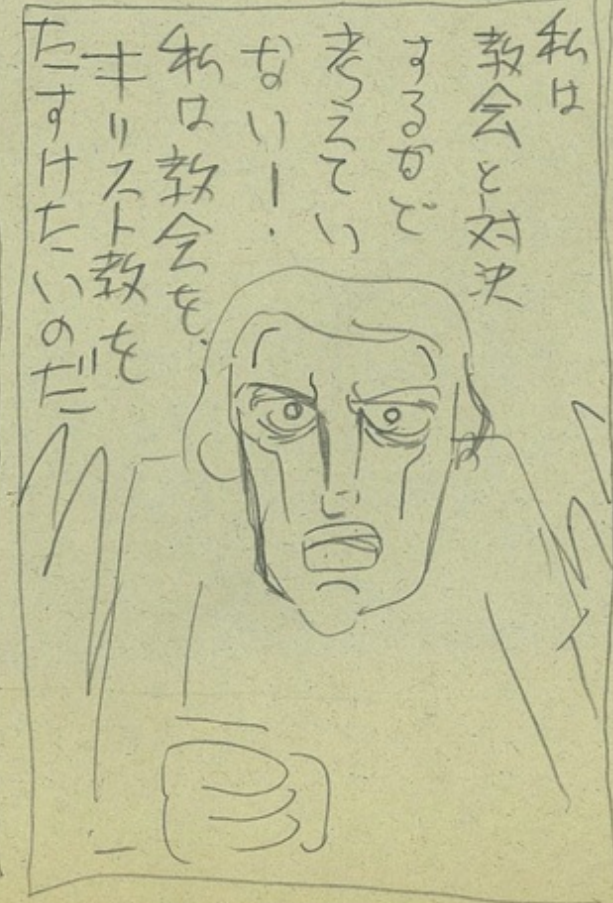
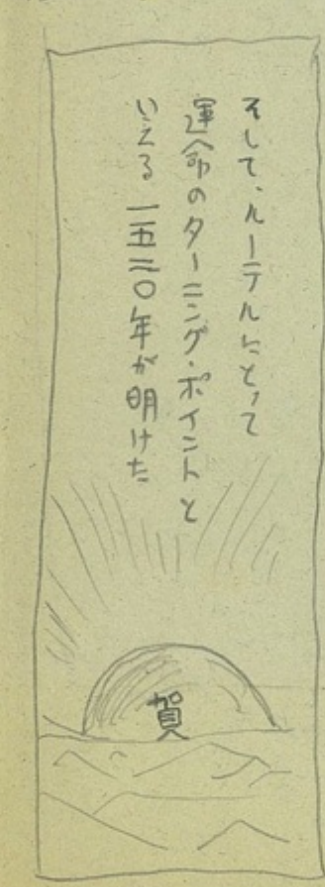
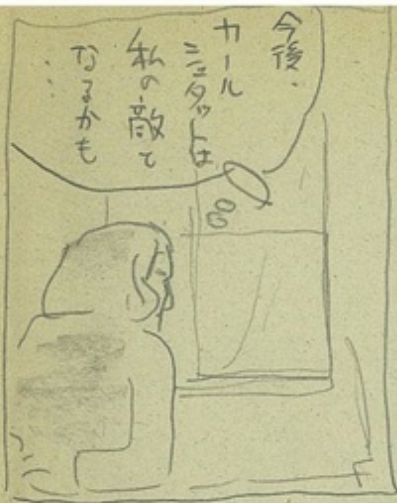
ええ

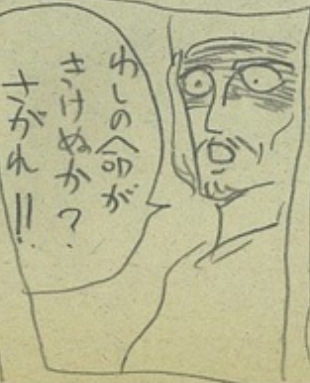
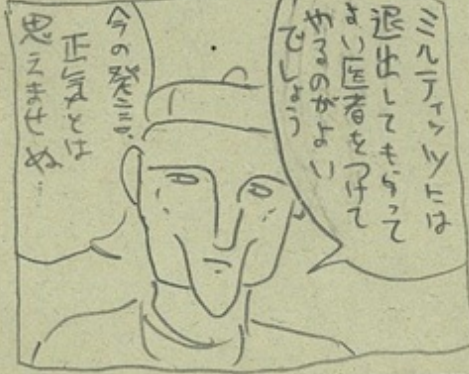
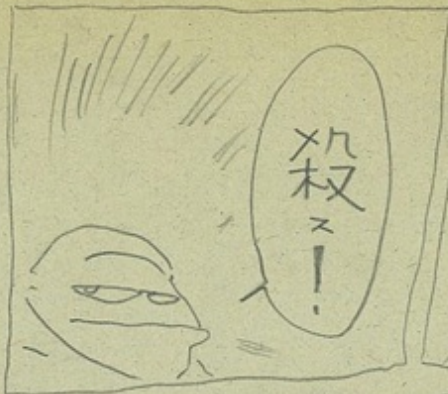
しかし、今では
教団の和解は
たがらず
事はまじりあへ
ずすんで
い

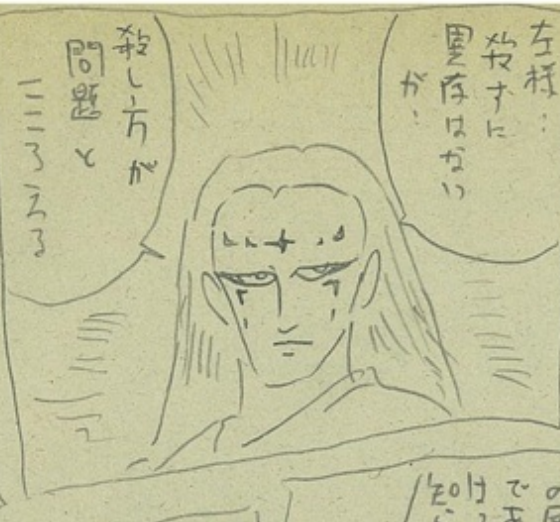
しかし
二人をけ本を
書けば
和解は
できま
る

しかし、私の立場
をばキリ
キリ、私の考えを
世に知らしめ
なくては

私は
急進
派に利用
キリスト教は
救わらん







むしろルーテルが
自決を曲げまこ
とはおそろしく
ありますまい

そこで
またためて
破門する
のですー！

もう一つ
考えようとしたが
なやなや

左様
ルーテル死後の
ルーテル派の
処へかひすな
ニッソルン

そのとおりです
カエタヌスとの

ルーテル亡き後
ルーテル派は急進
化して一もなま
るでしよつ、かなり
大きいのが...

そんな
ついでに
私に
意見が
あります

話しなまえ
イグナティウス
= Diem...

私は
教会独自の
ある軍隊、リヤ
騎士団をつくらせ

今も
教会に軍隊は
ありますぞ、
ロヨラの

話し最後まで
聞いていたせよ
お、
エックの

私のいうことは
今までの
傭兵団の
ことではな

私が構想してありますのは、
司祭が同時に
兵士をかねると
いう、つまり
傭兵団のこと
なのです

名づけてー
ジュズィット騎士団





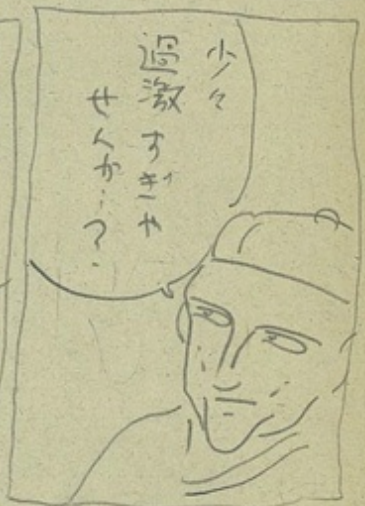
この組織は
カトリックの布教
ト、また、旧教の
遺跡に
お隠す
ものです

カトリックの布教
ト、また、旧教の
遺跡に
お隠す
ものです

フコク
ルーレン森を
みろ後ト
アムンニルニル
かな

カトリックの布教
ト、また、旧教の
遺跡に
お隠す
ものです

カトリックの布教



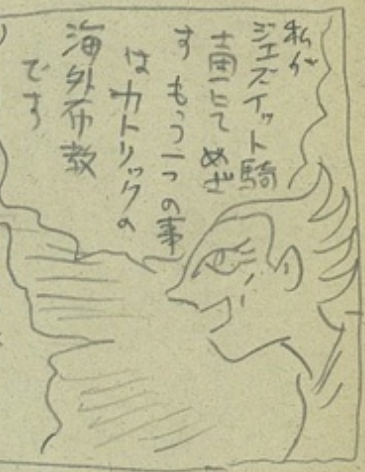
少々
過激すぎキヤ
せんか？



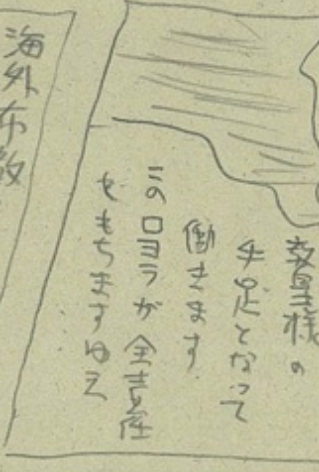
いそいそ
でござ
る。お系
ルーンル
お出現
しまし
ます



うーむ



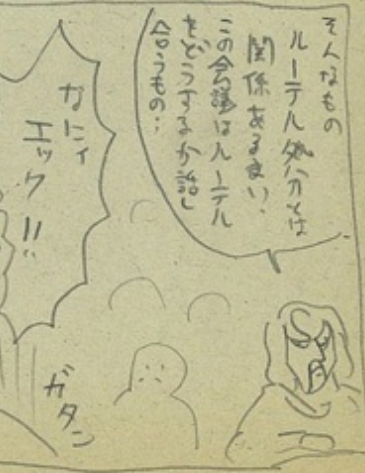
私
ジエス
ト騎
は用
すま
カトリック
海外布教
です



交皇様
手の上と
御さ
ミロ
セま
海外布教
か



教皇様!!



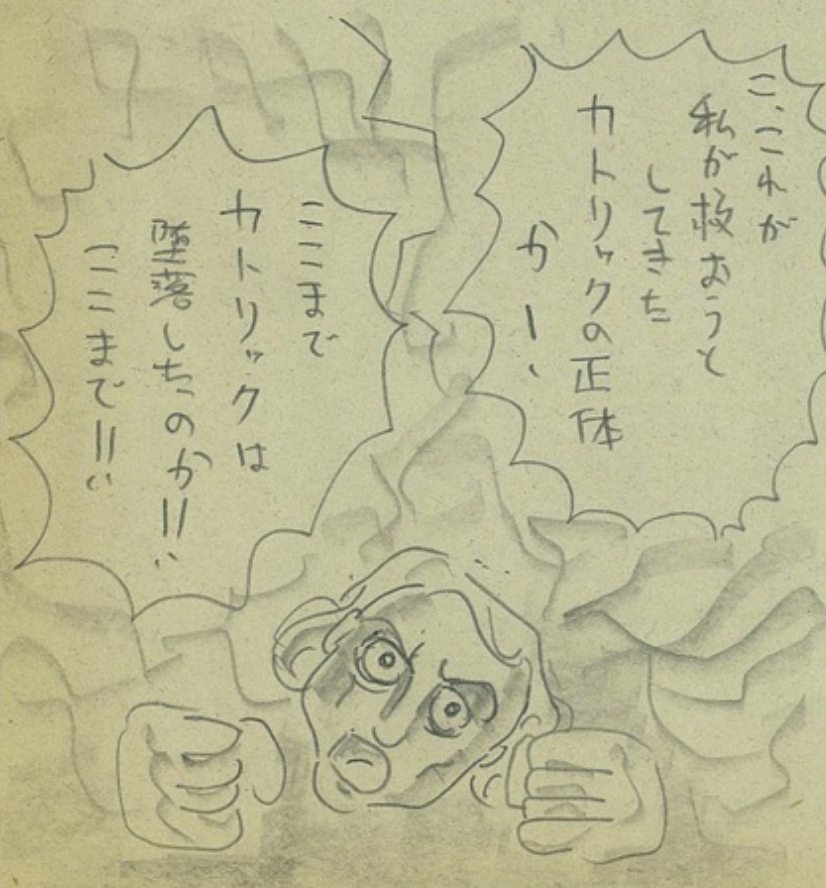
そん
ルー
関係
この
まじ
Donna

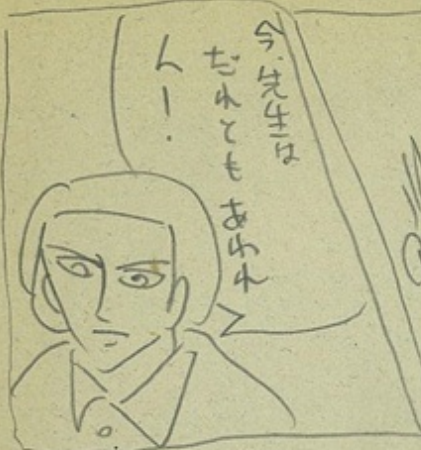


二人
ひか
教皇
ふん
なる



ジエ
こと
休





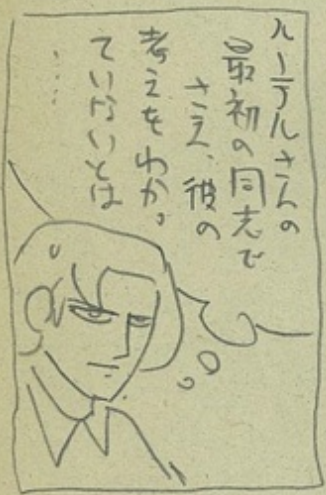
今先生は
たれともあやふ
しー



メラン
メトニ先生
ルーテル
先生は？



ガクガク



ルーテル先生の
取初の同友で
ナニ、彼の
考えもわか
ていかなは



くそ
また教会の
対決から逃が
るんやあや
ふしや



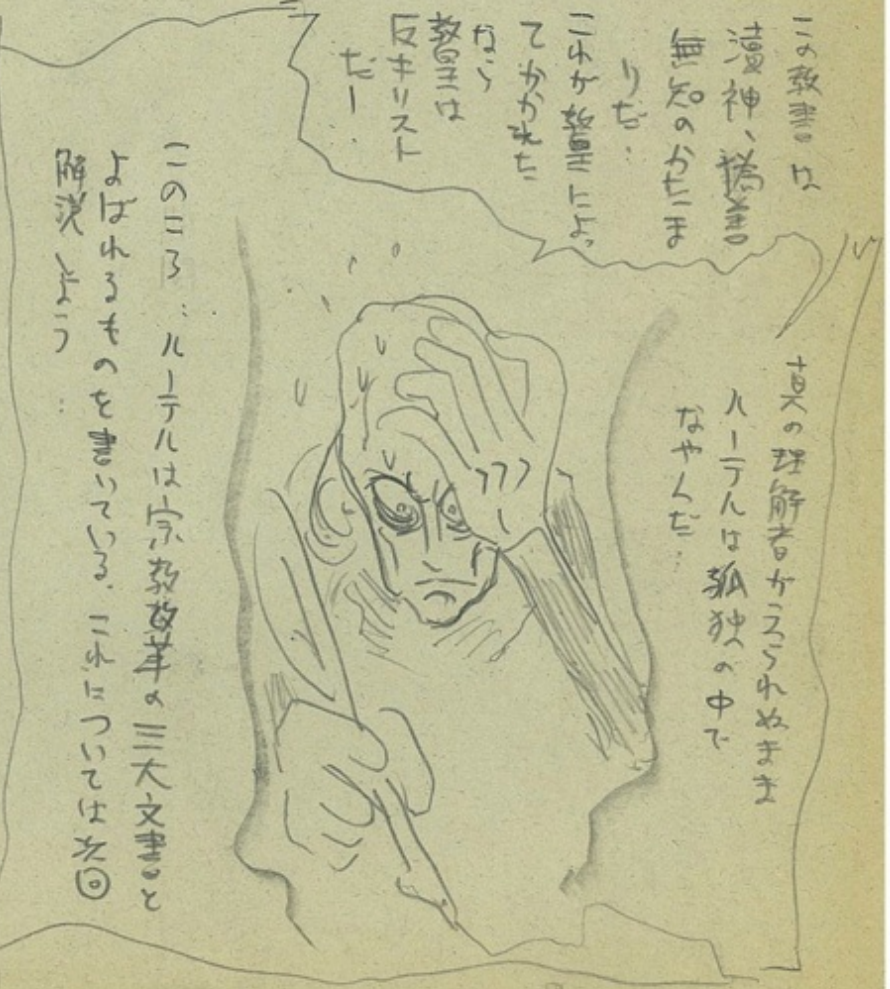
ルーテル先生
の考えを聞き
たいのです
ためだ



そして2月10日
60日間の期限がすぎた
ところからメラン
メラン(メトニ)
大学中の
人もみんな
集めて
あや



あつた
なつた

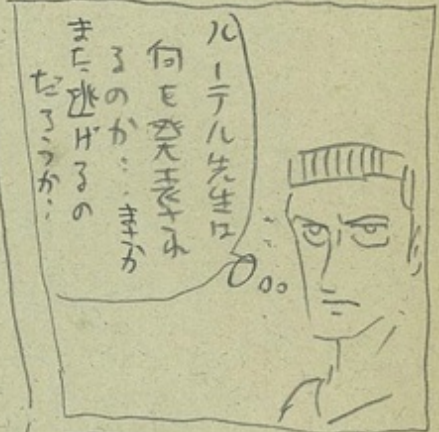


この教書。リ
浸神、偽書
無知のかたまり
りた
この教書によ
てかかされた
教書は
反キリスト
だ

このころ、ルーテルは宗教改革の三大文書と
よばれるものをまとめた。これはついでに
解説しよう

最大の理解者カスパー・ヘルマンは
ルーテルは孤独の中で
なやんだ

工んスタート門前広場



ルイテル先生は
向も空をまきみ
るのか... ままか
また逃げるの
た... つか...



来たぞ!!



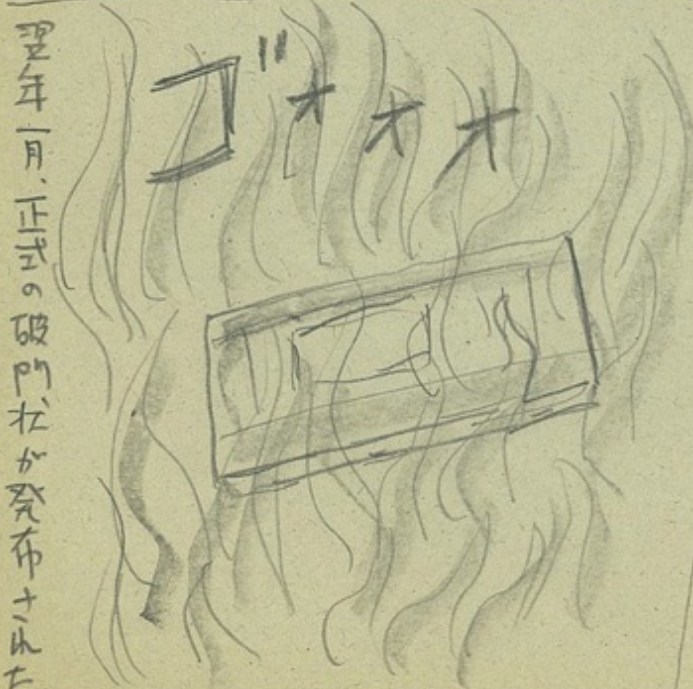
ルイテル先生
亦々おらした



マサール
たき火
も
たけ

先生

けい



翌年一月、正式の破門文が発表された

「背教者ルーテル」 vol.7 破門

<http://p.booklog.jp/book/31767>

著者：獣田由狼

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kemonoda/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/31767>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/31767>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.